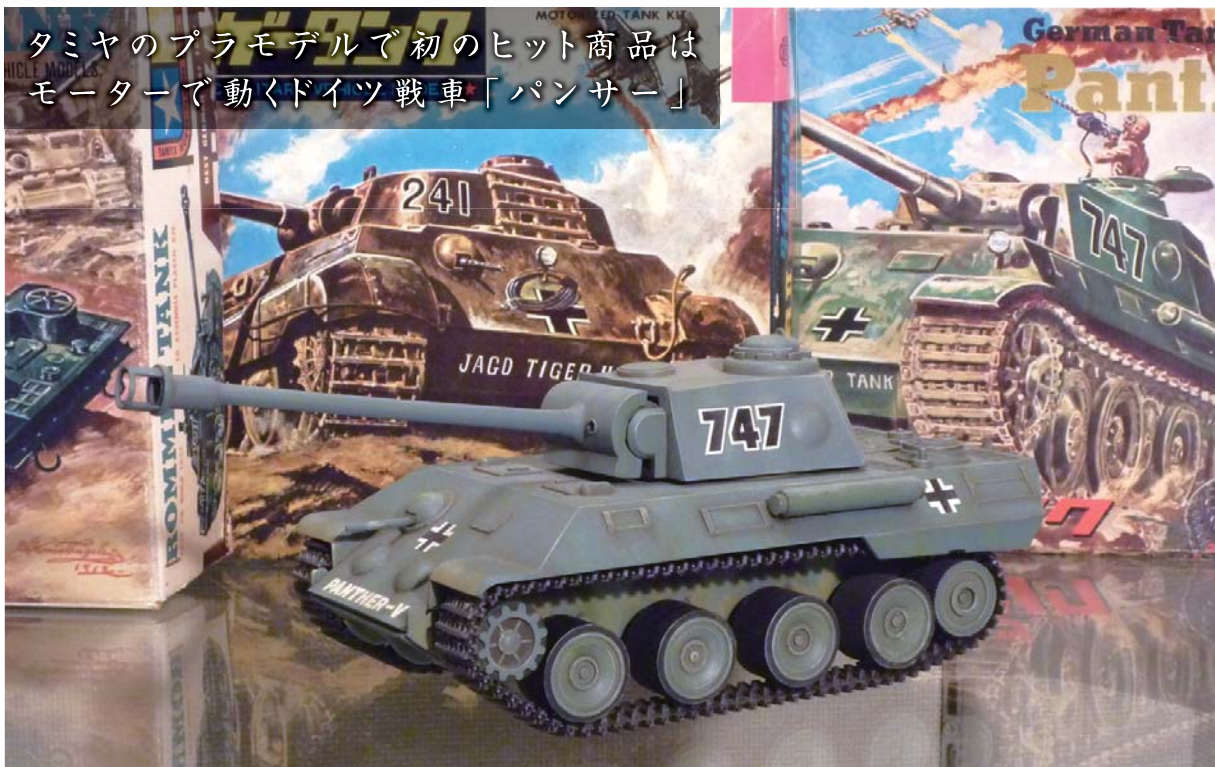


このコーナーでは、静岡の企業が有する隠れた地域産業史的な建造物や文化財などを掘り起こし、紹介します。



タミヤのプラモデルで初のヒット商品は
モーターで動くドイツ戦車「パンサー」

戦災で焼け野原となった静岡市で、田宮義雄氏は、製材業を開始。昭和22年(1947)には木製模型部門を設立。これが(株)タミヤの母体となりました。

静岡市には木製模型メーカーが多く、他社とは異なる魅力を打ち出すため、昭和30年(1955)、単2乾電池とマブチ・モーターを使用した、動く木製戦車を開発。さらに戦艦「武蔵」などの軍艦を発売し、大ヒットとなりました。

1958年、国産のプラモデルが発売されると、模型ファンの関心は、接着剤で簡単に組み上げられるプラモデルに移っていきました。

そこで、田宮模型は、木製模型からプラモデルに転換。1960年、第一作の戦艦「大和」は他社との競争で惨敗。

しかし約1年後、モーターで動くプラスチック製の戦車を企画。プラモデルの出来上がった姿を想像させる箱の表面の絵は、当時、人気のイラストレーター小松崎茂氏に依頼。現会長の田宮俊作氏がわかりやすい組み立て説明図を作成。

プラスチック製ドイツ戦車「パンサー」は良く走って、子供たちの人気が集まり、初めてのプラモデルのヒット商品となりました。モーターライズの戦車模型の魅力を普及させるため「戦車模型・競技大会」を開催しました。

(株)タミヤは、その後もRCカー、ミニ四駆など幅広いホビー製品を提供し続けています。

株式会社 タミヤ
静岡市駿河区恩田原3-7
「歴史館の見学についてのご案内」
■月曜日～金曜日 9:00～16:30
(土、日、祝日、夏期休暇、年末年始はお休み)
■事前申込制(前日までの受付)
☆タミヤホームページよりお申込みください。
www.tamiya.com
■5名までの少人数
(団体様、観光会社からの申込みはお断り。)



株タミヤ本社



本社ロビーには、プラモデルのデザイン元となった実際の車両を展示



タミヤ歴史館には、過去の代表的な製品が展示されています。